

# 渡邊博夫氏

## 1. 立候補を決めた理由を教えてください

お蔭さまで、知力、気力、体力ともに良く、これまでの経験値（40年余の教職歴と3期12年の議員歴）に加え、有難くいただいた信頼関係により自信から確信への4期目挑戦の立候補であります。人口減少や気候変動等、私たちを取り巻く環境は大変厳しいものがあり、山積する課題解決の必要性を強く感じます。今こそ政治や議会の在り方が問われていることから、議員としての本分・使命を全身全霊で果たす覚悟であります。

## 2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

人口減少、防災・減災、高齢者福祉、教育環境の整備等々、山積する課題の中で最大の課題とは安心・安全をはじめとする市民生活に必要な要素すべてであり、どれをとっても最重要課題である。そして「生命」の尊厳を大前提に、人間らしく自分らしく「生きる」ことを最優先とした施策の実施展開こそが対応策であり、この認識の上に目指すべき将来都市像とまちづくりの方針を示した第5次総合計画の着実な実行を求めます。

## 3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。

可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

この事業は中心市街地の南北分断の解消と交通の円滑化、鉄道跡地や高架下の新たな土地利用など具体的効果が見込まれ、都市基盤整備による公共投資や民間投資による地域経済及び中心市街地の活性化が期待でき、本市再生の大きな契機になると確信いたします。大事なのは原地区をはじめ全市的に波及効果があってこそその再生であるべきです。正にこの事業は、景色が一変する鉄道高架をはじめ沼津駅周辺総合整備事業だと言えます。

## 4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと考えられますか。

移住・定住策で何か、お考えはありますか。

本市の合計特殊出生率は2013-2017年の値は1.41であり、本市人口ビジョンの想定で2025年に1.8を見込むが、当局はその実現は楽観視できない状況であるとの認識であり同感であるが、万難を排して取り組むべき課題。一方、充実した支援制度やテレワークによる働き方の多様化等から関心の高い移住定住策は、人口減少下の対応策として将来に亘り有効であり、子育てや住みやすさを重視し積極的に推進すべきです。